

上部工一桁（主要部材）	径間番号	1
-------------	------	---

※作成時にシート『状態指標』の入力データは削除されます。

OBAS No.		路 線 名		行政区	径間番号	1
橋 梁 名		走行区分		工營所	点検年月日	
交差物名		位置区分		建設年	点検者名	

[illegible]

＜損傷の種類＞

- 【銅】 ①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断

【コンクリート】 ⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰 ⑥剥離・鉄筋露出 ⑦床版ひび割れ・遊離石灰 ⑧床版の抜け落ち ⑨コンクリート補強剤の損傷

【その他】 ⑩下部工（基礎）の変状 ⑪支承の機能障害 ⑫伸縮装置の機能障害 ⑬舗装の段差・ポットホール ⑭変形・欠損

【共通】 ⑮異常な音・振動・たわみ ⑯定着部の異常 ⑰その他

損傷リンク

小傷損

大不可視傷目

上部工一桁（二次部材）	径間番号	1
-------------	------	---

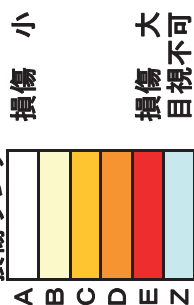
OBAS No.		路 線 名		行政区	径間番号	1
橋 梁 名		走行区分		工 営 所	点検年月日	
交差物名		位置区分		建設年	点検者名	

[illegible]

＜損傷の種類＞

- | | | | | | | |
|----|----|---------|---------|---------------|---------------|--------------|
| 鋼 | 食 | 裂 | 破 | 【コンクリート】 | 【その他】 | 【共通】 |
| ①腐 | ①腐 | ②亀 | ③ゆるみ・脱落 | ⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰 | ⑩下部工（基礎）の変状 | ⑮異常な音・振動・たわみ |
| ②亀 | ②亀 | ③ゆるみ・脱落 | ④破 | ⑥剥離・鉄筋露出 | ⑪支承の機能障害 | ⑯定着部の異常 |
| | | | | ⑦床版ひび割れ・遊離石灰 | ⑫伸縮装置の機能障害 | ⑰その他 |
| | | | | ⑧床版の抜け落ち | ⑬舗装の段差・ポットホール | |
| | | | | ⑨コンクリート補強剤の損傷 | ⑭変形・欠損 | |

損傷リンク



下部工一基礎		径間番号	1
--------	--	------	---

OBAS No.	路線名	行政区	径間番号	1
橋梁名	走行区分	工務所	点検年月日	
交差物名	位置区分	建設年	点検者名	

工種	材料	部材種別	部材番号	評価		分類		評価		分類		評価		分類		評価		分類		全体評価		備考
				評価	分類	評価	分類	評価	分類	評価	分類	評価	分類	評価	分類	評価	分類	評価	分類	部材	径間	

<損傷の種類>

【鋼】

①腐食
 ②亀裂
 ③ゆるみ・脱落
 ④破断

【コンクリート】

⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰
 ⑥剥離・鉄筋露出
 ⑦床版ひび割れ・遊離石灰
 ⑧床版の抜け落ち
 ⑨コンクリート補強剤の損傷

【その他】

⑩下部工（基礎）の変状
 ⑪支承の機能障害
 ⑫伸縮装置の機能障害
 ⑬舗装の段差・ポットホール
 ⑭変形・欠損

【共通】

⑮異常な音・振動・たわみ
 ⑯定着部の異常
 ⑰その他

損傷ランク

A

B

C

D

E

Z

損傷 小

損傷 大

目視不可

状態指標（耐荷性）		径 間 番 号	1
-----------	--	---------	---

OBAS No.	路 線 名	行政区	径間番号	1
橋 梁 名	走行区分	工 営 所	点検年月日	
交差物名	位置区分	建設年	点検者名	

耐荷性 (評価箇所数の入力)	重み係数	鋼部材の損傷 (箇所数)					コンクリート部材の損傷 (箇所数)					その他部材の損傷 (箇所数)					備考
		D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	
		80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	
主桁	1.0																
床版	0.6																
横桁	0.2																
縦桁	0.2																
対傾構	0.2																
横構	0.2																
下部工	0.2																
支承部	0.2																
伸縮装置																	

耐荷性 (評価箇所数の計算)	重み係数	鋼部材の損傷(評価点)	コンクリート部材の損傷(評価点)	その他部材の損傷(箇所数)	損傷度評価点		指標
					構造単位	全体	
上部工	主桁	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	床版	0.0	0.0	0.0			
	横桁	0.0	0.0	0.0			
	縦桁	0.0	0.0	0.0			
	対傾構	0.0	0.0	0.0			
	横構	0.0	0.0	0.0			
下部工	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
支承部	0.2	0.0	0.0	0.0			
伸縮装置							

耐荷性に対する要素の統合方法

要素の結合方法	
部材	主桁
上部工	床版
	横桁
	縦桁
	対傾構
下部工	横構
	下部工
支承部	

- ・評価は、部材単位で実施する。
- ・表の「評価箇所数の入力」には、それぞれの損傷ランクに該当する部材数を入れる。
- ・「主桁」については、最悪値を採用する。

要素の結合方法	
部材	主桁
上部工	床版
	横桁
	縦桁
	対傾構
下部工	横構
	下部工
支承部	

状態指標（災害抵抗性）										径 間 番 号		1	
OBAS No.		路 線 名		行政区		径間番号		1					
橋 梁 名		走行区分		工 営 所		点検年月日							
交 差 物 名		位置区分		建設年		点検者名							

災害抵抗性	重み係数	鋼部材の損傷(箇所数)					コンクリート部材の損傷(箇所数)					その他部材の損傷(箇所数)					備考
		D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	
		80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	
上部工	主桁	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	床版	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	横桁	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	縦桁	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	対傾構	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下部工	横構	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支承部		0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
伸縮装置																	

災害抵抗性 (評価箇所数の計算)	重み係数	鋼部材の損傷(評価点)					コンクリート部材の損傷(評価点)					その他部材の損傷(箇所数)					指標	
		鋼部材の損傷(評価点)					コンクリート部材の損傷(評価点)					その他部材の損傷(箇所数)						
		鋼部材の損傷(評価点)					コンクリート部材の損傷(評価点)					その他部材の損傷(箇所数)						
上部工	主桁	0.4	0.0				0.0					0.0				100.0		
	床版	0.2	0.0				0.0					0.0						
	横桁	0.2	0.0				0.0					0.0						
	縦桁	0.2	0.0				0.0					0.0						
	対傾構	0.2	0.0				0.0					0.0						
下部工	横構	0.2	0.0				0.0					0.0				0.0		
		1.0	0.0				0.0					0.0						
支承部		0.8	0.0				0.0					0.0				0.0		
伸縮装置																		

災害抵抗性に対する要素の統合方法

部材		要素の結合方法	
上部工	主桁	平均値で評価	
	床版	平均値で評価	
	横桁	平均値で評価	
	縦桁	平均値で評価	
	対傾構	平均値で評価	
下部工		平均値で評価	
支承部		最悪値で評価	
		最悪値で評価	

評価は、部材単位で実施する。
表の「評価箇所数の入力」には、それぞれの損傷ランクに該当する部材数を入れる。
「下部工」、「支承部」については、最悪値を採用する。

状態指標（走行安全性）		径 間 番 号	1
-------------	--	---------	---

OBAS No.	路 線 名	行政区	径間番号	1
橋 梁 名	走行区分	工 営 所	点検年月日	
交差物名	位置区分	建設年	点検者名	

走行安全性	重み係数	鋼部材の損傷 (箇所数)					コンクリート部材の損傷 (箇所数)					その他部材の損傷 (箇所数)					備考
		D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	D4	D3	D2	D1	-	
		80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	80	40	20	10	0	
主桁	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
床版	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
横桁																	
縦桁																	
対傾構																	
横構																	
下部工																	
支承部	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伸縮装置	0.8																

走行安全性 (評価箇所数の計算)	重み係数	鋼部材の損傷(評価点)	コンクリート部材の損傷(評価点)	その他部材の損傷(箇所数)	損傷度評価点		指標	
					構造単位	全体		
上部工	主桁	0.0	0.0				0.0	100.0
	床版	0.0	0.0					
	横桁							
	縦桁							
	対傾構							
下部工	横構							
	支承部	0.2	0.0	0.0		0.0	0.0	
	伸縮装置	0.8	0.0	0.0		0.0	0.0	

走行安定性に対する要素の統合方法

部材		要素の結合方法
上部工	主桁	平均値で評価
	床版	最悪値で評価
伸縮装置	支承部	平均値で評価
	伸縮装置	最悪値で評価

・評価は、部材単位で実施する。
・表の「評価箇所数の入力」には、それぞれの損傷ランクに該当する部材数を入れる。
・「床版」、「伸縮装置」については、最悪値を採用する。

M判定結果報告

OBAS No.	路 線 名		行政 区			
橋 梁 名	走行区分		工 堂 所		点検年月日	
交差物名	位置区分		建設年		点検者名	

写真番号	1	径間番号	2	径間番号	2	写真番号	3	径間番号	4	径間番号	4	写真番号	5	径間番号	5
損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真	
撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日	
部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号	
損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類	
①その他		①その他		①その他		①その他		①その他		①その他		①その他		①その他	
損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価	
M		M		M		M		M		M		M		M	
メ		メ		メ		メ		メ		メ		メ		メ	
モ		モ		モ		モ		モ		モ		モ		モ	

写真番号	3	径間番号	3	径間番号	3	写真番号	4	径間番号	4	径間番号	4	写真番号	5	径間番号	5
損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真		損傷状況写真	
撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日		撮影年月日	
部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号		部材番号	
損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類		損傷の種類	
損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価		損傷度評価	
メ		メ		メ		メ		メ		メ		メ		メ	
モ		モ		モ		モ		モ		モ		モ		モ	

損 傷 写 真

橋梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

橋梁數	0 橋
-----	-----

[illegible]

桥梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

橋梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

桥梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

桥梁数	0 桥
-----	-----

ケーブル詳細調査					
	調査区間	部材名	ケーブル番号	開始または 閉鎖業者 要否料定	調査評価
OBAS No					推奨張力/ 設計張力
橋梁名					
工営所					
区名					
路線名					
橋長					
利用区分					
橋下条件					
文差動名					
建設年					
点検年月日					
点検年度					
点検業者名					
構造形式					
全長間数					
区間番号					

橋梁数	
-----	--

[illegible]

橋梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

橋梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

橋梁数	0 橋
-----	-----

[illegible]

